

2017(平成29)年度事業報告書 及び附属明細書

自 2017(平成29)年4月 1日

至 2018(平成30)年3月31日

107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

目次

I	概 要	1
II	公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」	2
	1. 楽器の保守・保全	2
	2. 楽器の貸与	3
	3. 演奏会の開催	7
	4. 音楽文化振興・普及のための助成	12
	5. 広報活動	14
III	総 務	16
	1. 役員の異動	16
	2. 理事会	16
	3. 評議員会	16
	4. 監事会	17
	5. 登記事項	17
	6. 主務大臣(内閣府)への届出等	17
	7. 外部監査の実施	17
	8. 事務局	17

[巻末別紙]

1.	公益財団法人日本音楽財団理事・監事・評議員名簿	18
2.	事業委員名簿	19
3.	財団保有楽器の概要	20
4.	楽器名と貸与者一覧	25

I 概 要

日本音楽財団は、1974年3月に音楽文化の振興と普及に寄与することを目的として設立され、2012年4月に公益財団法人となつてからは、公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」の下に、1.楽器の保守・保全、2.楽器の貸与、3.演奏会の開催、4.音楽文化振興・普及のための助成という4つの柱を置いて事業を推進している。

弦楽器購入を条件とした寄付の申し出が約3年前に岡本夫妻よりあり、市場調査をしていたところ、楽器貸与事業に見合う楽器を見出すことができたため、理事会、評議員会の議決を得て保有していた特定資産取得資金等と合わせて新たに楽器(Stradivairus 1735年製 Violin “Samazeuilh”: サマズィユ)を2017年8月に購入し、基本財産(公益目的事業を行うための不可欠特定財産)に繰入れた。

2018年3月末現在、アントニオ・ストラディヴァリ(ヴァイオリン15挺、チェロ3挺、ヴィオラ1挺)、ガアルネリ・デル・ジェス(ヴァイオリン2挺)によって製作された弦楽器を21挺保有している。

本年度の事業は、日本財団の助成金を受けて下記のとおり実施した。

1. 楽器の保守・保全

(1) 楽器の保守管理

①指定楽器商での定期保守を実施した。

②ワシントン条約(CITES)のルール変更に伴い、該当楽器7挺の対象となる部分の付け替えを行い、また、適用除外証明書を再発行した。

(2) 楽器保険の付保

保有する21挺の弦楽器には、日本の保険会社2社に楽器保険を付保し、万が一の事故に備えた。

(3) ATA カルネの発給

海外通関時の輸入税の支払いを回避するため、海外に持ち出す楽器にはATAカルネを発給した。

2. 楽器の貸与

2017年10月に楽器貸与委員会をドイツにて開催し、本年度に申請のあった貸与申請者について審議し、貸与者を決定した。なお、新たに購入した楽器については、日本での演奏活動をする演奏家に財団の判断で貸与者を選定することが承認された。

3. 演奏会の開催

本年度は、①演奏会の定期開催、②新しいファン層拡大、③楽器貸与事業の周知広報の3つの柱の下に10公演を実施した。

4. 音楽文化振興・普及のための助成

事業運営委員会で採択された6事業に支援した。

II 公益目的事業

「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」

1. 楽器の保守・保全

(1) 楽器の保守管理

保有する 21 挺の楽器の修理、調整等については、ストラディヴァリウス等の名器の取扱いに慣れている楽器商を指定し実施している。各楽器貸与者には、年 4 回の指定楽器商での定期保守を義務付けている。また、同じ目で楽器を見る必要があるという観点より、年 4 回の内の 1 回は、英国在住の当財団楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル氏 (Andrew Hill) により楽器のチェックを受けている。楽器の修理・調整に関する記録は全て保管し、楽器の状態把握に努めており、それらにかかる費用は、当財団が全て負担している。

保有する楽器は製作後約 300 年が経過し、大規模な修理が必要な楽器がでてきており、これに対応するために特定費用準備資金(大規模楽器修理)を積立てている。本年度は定期保守のみで大規模修理が必要な楽器はなかった。

ワシントン条約・CITES (Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora: 絶滅の恐れのある野生動植物の国際間取引規制条約)に関連して、ブラジルボク(別名: ペルナンブコ、フェルナンブコ)を使用した弓が米国で没収される事件が近年起こった。また、弦楽器の没収という事態にはなっていないが、米国税関が弦楽器を対象とする可能性があることから、当財団では、2016 年度より保有する全ての楽器に「ワシントン条約で禁じている材料が使われていないことの証明」(ワシントン条約適用除外証明書: Declaration of Materials)を当財団指定楽器商により発行し、各楽器貸与者に常に携帯させている。

2017 年 1 月には紫檀 (Rosewood) が新たに付属書に追加されたため、本年度は対象となった 7 挺の楽器 (Paganini 1680 Violin, Paganini Cello, Engleman, Sasserno, Jupiter, Lord Aylesford, Feuermann) がツゲ (Boxwood) や黒檀 (Ebony) への付け替えが必要となり、証明書の再発行を行った。

(2) 楽器保険の付保

楽器保険については、楽器管理者の責任のもと全額を当財団が支払っている。本年度は、東京海上日動火災保険(株)及び三井住友海上火災保険(株)の 2 社で楽器保険更改を行った。

(3) ATA カルネの発給

2012 年 9 月にドイツ・フランクフルト空港の税関にて、当財団の楽器が輸入税未払いとみなされて押収されたことから、2012 年 10 月より楽器、楽器貸与者の通関が滞りなく行われるように海外へ持ち出す際に ATA カルネを発給した。なお、当財団は ATA

カルネを使用して通関できない国への楽器の持ち込みを禁止している。

ATA カルネ違反の際に生じる輸入税の支払い等に備えた特定費用準備資金(楽器保全)の積立は、本年度実施しなかった。また、楽器購入のために助成元である日本財団の了解を得て、特定費用準備資金(楽器保全)の取崩を行った。

2. 楽器の貸与

当財団は、保有する弦楽器名器を国籍問わず一流の演奏家や若手有望演奏家は無償で貸与する楽器貸与事業を実施している。

楽器貸与については、年間を通してホームページで応募方法を告知し、貸与申請を受け付けている。貸与者選考は、欧、米、アジアの有識者で構成される楽器貸与委員会を毎年開催し行っている。

(1) 楽器貸与委員会

本年度は、下記のとおり実施した。

日 時	2017年10月13日(金)11:00~12:40
場 所	ドイツ ベルリン市 グランド・ハイアット・ベルリン内会議室にて
楽器貸与委員	巻末別紙2のとおり
財団保有楽器	巻末別紙3のとおり
審議事項	現在の貸与状況及び貸与更新について 新規貸与申請について

会議結果

① 貸与更新承認(13名)

Veronika Eberle(vn)、Suyoen Kim(vn)、Svetlin Roussev(vn)、諏訪内晶子(vn)、Ray Chen(vn)、Arabella Miho Steinbacher(vn)、Alina Pogostkina(vn)、五嶋龍(vn)、Yuki Manuela Janke(vn)、Sergey Khachatryan(vn)、Benjamin Beilman (vn)、Pablo Ferrández(vc)、石坂団十郎(vc)

② 特別貸与承認(1団体)

短期貸与中のクレモナ・クアルテット(Quartetto di Cremona)より、2018年9月クレモナで開催する特別演奏会までの貸与申請があり、1年間の貸与が承認された。また、次のクアルテット貸与者を次の楽器貸与委員会(2018年度)で審議するために貸与申請者申請者を募集することが確認された。

③ ソリストとしての演奏回数が少ない貸与者への貸与終了の提案があった。

④ 2015年エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門優勝者 Ji Young Lim については、次回コンクール(2019年5月)まで Stradivarius 1708年製 Violin "Huggins" の貸与が確認された。

⑤ 本年度に購入した Stradivarius 1735 Violin サマズィユ"Samazeuilh"については、資金の寄付者が日本人であるため、しばらくは日本で演奏活動をする演奏家に財団の判断で貸与することが承認された。

(2) 楽器の貸与状況

本年度における保有楽器 21 挺の貸与状況は、下記のとおりである。貸与者から財団

へ報告された演奏会開催数は、年間合計 663 回、聴衆合計 724,500 名となっている。

①～④ Stradivarius “Paganini Quartet”

貸与者 Hagen Quartet

1680 年製 Violin Rainer Schmidt(スイス・ビンニゲン在住)

1727 年製 Violin Lukas Hagen(オーストリア・ザルツブルク在住)

1731 年製 Viola Veronika Hagen(オーストリア・ゼーキルヒェン・
アム・ヴァラーゼー在住)

1736 年製 Cello Clemens Hagen(オーストリア・ザルツブルク在住)

貸与推薦者 内田光子(ピアニスト)

Franz Welser-Möst(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 25 回(聴衆約 13,200 名)

2013 年 7 月 5 日より 2017 年 8 月 31 日まで貸与契約を結んでいたが、楽器返却の申し出があり 2017 年 8 月をもって貸与を終了した。(貸与期間 4 年 2 ヶ月)

貸与者 Quartetto di Cremona

1680 年製 Violin Paolo Andreoli(イタリア・ジェノヴァ在住)

1727 年製 Violin Cristiano Gualco(イタリア・ジェノヴァ在住)

1731 年製 Viola Simone Gramaglia(イタリア・ボグリアスコ在住)

1736 年製 Cello Giovanni Scaglione(イタリア・ジェノヴァ在住)

貸与推薦者 Lawrence Dutton(ヴァイオリニスト)

Riccardo Chailly(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 39 回(聴衆約 13,900 名)

2017 年 9 月 25 日より貸与していたが、2017 年の貸与委員会の承認を得て 2018 年 10 月 31 日まで(貸与期間 1 年 1 ヶ月)期限付き特別貸与契約を結んだ。

⑤ Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”

貸与者 Veronika Eberle(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

Sir Simon Rattle(指揮者)

内田光子(ピアニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 46 回(聴衆約 64,200 名)

2009 年 5 月 11 日より貸与しており、2018 年 8 月 31 日まで(貸与期間 9 年 4 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑥ Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”

貸与者 Suyoen Kim(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

Jan Latham-Koenig(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 19 回(聴衆約 11,400 名)

2015 年 1 月 20 日より貸与しており、2018 年 8 月 31 日まで(貸与期間 3 年 8 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑦ Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”

貸与者 Ji Young Kim (ドイツ・ベルリン在住)

貸与期間 2015 年 6 月 2 日～次期コンクール開催 (2019 年 5 月) まで

当該楽器を使用しての演奏 合計 20 回 (聴衆約 20,600 名)

同氏は 2015 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールの優勝者であり、副賞として上記期間約 4 年間、当該楽器を貸与予定。

⑧ Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”

貸与者 Benjamin Beilman (米国・フィラデルフィア在住)

貸与推薦者 Kyung-Wha Chung (ヴァイオリニスト)

Jean-Philippe Rolland (ワーナークラシック副社長)

当該楽器を使用しての演奏 合計 48 回 (聴衆約 58,800 名)

同氏は、2016 年に開催した楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され、2016 年 12 月 7 日より貸与を開始し、2018 年 8 月 31 日まで (貸与期間 1 年 9 ヶ月) 貸与契約を結んだ。当財団の演奏会 (後述) に出演した。

⑨ Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”

貸与者 Svetlin Roussev (フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Myung-Whun Chung (指揮者)

Kyung-Wha Chung (ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 54 回 (聴衆約 42,200 名)

2012 年 1 月 15 日より Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim” を短期で貸与したが、2012 年 2 月 8 日に当該楽器に変更した。2018 年 8 月 31 日まで (貸与期間 6 年 7 ヶ月) 貸与契約を結んだ。

⑩ Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”

貸与者 諏訪内晶子 (フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Charles Dutoit (指揮者)

徳永二男 (ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 70 回 (聴衆約 94,300 名)

2000 年 8 月 11 日より貸与しており、2018 年 8 月 31 日まで (貸与期間 18 年) 貸与契約を結んだ。当財団の演奏会 (後述) に出演した。

⑪ Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”

貸与者 Ray Chen (米国・フィラデルフィア在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 64 回 (聴衆約 65,000 名)

同氏は 2009 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins” を貸与したが、他団体からも楽器貸与を受けていたため、その期間は楽器を返却した (2009 年 6 月 2 日から 2010 年 9 月 8 日まで貸与: 貸与期間 1 年 3 ヶ月)。その後他団体からの貸与が終了したので、2012 年 4 月 11 日より Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands” を貸与し、2014 年 6 月 19 日に当該楽器に変更した。2018 年 8 月 31 日まで (貸与期間 6 年 5 ヶ月、通算貸与期間 7 年 8 ヶ月) 貸与契約を結んだ。当財団の演奏会 (後述) に出演した。

⑫ Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”

貸与者 Arabella Miho Steinbacher (ドイツ・ミュンヘン在住)
貸与推薦者 Ana Chumachenco (ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)
Anne-Sophie Mutter (ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 51 回 (聴衆約 79,200 名)

2005 年 5 月 6 日より 1736 年製 Stradivarius Violin “Muntz” 貸与していたが、2006 年 9 月 4 日より当該楽器に変更している。2018 年 8 月 31 日まで (貸与期間 12 年、通算期間 13 年 4 ヶ月) 貸与契約を結んだ。当財団の助成事業 (後述) に出演した。

⑬ Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”

貸与者 Alina Pogostkina (ドイツ・ベルリン在住)
貸与推薦者 Sakari Oramo (指揮者)
Thomas Hengelbrock (指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 34 回 (聴衆約 41,200 名)

2013 年 2 月 28 日より貸与を開始し、2018 年 8 月 31 日まで (出産のため 2015 年 5 月から 11 月まで 7 ヶ月休業中は一時楽器を返却した。貸与期間 4 年 11 ヶ月) 貸与契約を結んだ。当財団の演奏会 (後述) に出演した。

⑭ Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”

貸与者 五嶋 龍 (米国・ニューヨーク在住)
貸与推薦者 今井信子 (ヴァイオラ奏者)
Michael Dussek (ピアニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 19 回 (聴衆約 24,900 名)

2013 年 3 月 7 日より短期貸与を開始し、2013 年開催の楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認された。2018 年 8 月 31 日まで (貸与期間 5 年 6 ヶ月) 貸与契約を結んだ。

⑮ Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”

貸与者 Radoslaw Szulc (ドイツ・ミュンヘン在住)
貸与推薦者 Mariss Jansons (指揮者)
Julia Fischer (ヴァイオリニスト、フランクフルト音楽大学教授)

貸与期間 2016 年 12 月 17 日～2017 年 6 月 16 日
2017 年 6 月 17 日～2017 年 12 月 16 日
2017 年 12 月 17 日～2018 年 6 月 16 日
演奏活動のため (短期貸与期間延長)

当該楽器を使用しての演奏 合計 9 回 (聴衆約 9,700 名)

⑯ Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh”

日本財団の助成金 (特定資産取得資金) と岡本夫妻からの指定寄付金等で、2017 年 8 月に購入した。当該楽器は寄付者が日本人であるため、しばらくは日本での演奏活動をする演奏家に貸与することが本年度の楽器貸与委員会で承認された。

⑰ Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”

貸与者 Yuki Manuela Janke (ドイツ・ドレスデン在住)
貸与推薦者 外山雄三 (指揮者、作曲家)
Julia Fischer (ヴァイオリニスト、フランクフルト音楽大学教授)

当該楽器を使用しての演奏 合計 46 回(聴衆約 64,200 名)
2007 年 11 月 3 日より貸与しており、2018 年 8 月 31 日まで(貸与期間 10 年 10 ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の助成事業(後述)に出演した。

⑱ Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”

貸与者 Pablo Ferrández(スペイン・トレドネス在住)
貸与推薦者 Frans Helmerson(チェリスト)
Luis Claret(チェリスト)
Paloma O'shea(ソフィア王妃高等音楽院学長)

当該楽器を使用しての演奏 合計 37 回(聴衆約 44,200 名)
2014 年 1 月 17 日より貸与しており、2018 年 8 月 31 日まで(貸与期間 4 年 8 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑲ Stradivarius 1730 年製 Cello “Feuermann”

貸与者 石坂団十郎(ドイツ・ヴェルダール(ハーヴェル)在住)
貸与推薦者 Daniel Barenboim(ピアニスト、指揮者)
Krzysztof Penderecki(作曲家、指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 27 回(聴衆約 14,500 名)
2004 年 1 月 29 日より Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”を貸与していたが、2014 年 1 月 10 日より当該楽器に変更した。2018 年 8 月 31 日まで(貸与期間 4 年 8 ヶ月、通算期間 14 年 7 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑳ Guarneri del Gesu 1736 年製 Violin “Muntz”

貸与者 渡辺玲子(東京在住)
貸与推薦者 原田幸一郎(ヴァイオリニスト)
徳永二男(ヴァイオリニスト)
貸与期間 2017 年 4 月 1 日～2017 年 9 月 30 日
2017 年 10 月 1 日～2018 年 3 月 31 日(短期貸与延長)

当該楽器を使用しての演奏 合計 22 回(聴衆約 8,400 名)
当財団事業協力のために貸与している。本年度は、「青少年のためのレクチャーコンサート」として宇部市(助成事業)と北九州市並びに浦安市の演奏会(後述)に協力した。

㉑ Guarneri del Gesu 1740 年製 Violin “Ysaye”

貸与者 Sergey Khachatryan(ドイツ・エッシュボルン在住)
当該楽器を使用しての演奏 合計 33 回(聴衆約 54,600 名)

同氏は 2005 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、2009 年 4 月 7 日まで Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を貸与(4 年 10 ヶ月)した。引き続きの貸与の申請があり、Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”を 2009 年 4 月 7 日より貸与。その後、2010 年 10 月 27 日より当該楽器へ変更し 2018 年 8 月 31 日まで(貸与期間 7 年 10 ヶ月、通算貸与期間 13 年 3 ヶ月)貸与契約を結んだ。

3. 演奏会の開催

本年度は次の 3 つの目的別に 10 公演を実施した。(1)演奏会の定期開催 5 公演(浦安市との共同による 1 公演、名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同による 4 公演)、

(2) 新しいファン層拡大 3 公演(レクチャーコンサート 2 公演、社会的影響力のある団体との連携 1 公演)、(3) 楽器貸与事業の周知広報 2 公演。

各演奏会とも実録 CD を作成し、関係者へ配布するとともにクラシック音楽専門チャンネル等で放送し事業の周知に努めた。

(1)～(5)演奏会の定期開催

演奏会の集客力を高める有効な方法として、演奏会の定期開催を本年度より開始した。毎年同じ時期に演奏会を定期的に行うことでクラシックファンに予め開催の告知することで集客力を期待できるほか、開催地における当財団の認知度とブランド力を定着させるとともに、音楽文化の振興・普及に努めた。

(1) 浦安市との共同コンサート

首都圏での演奏会開催を目指す一環として、本年度より浦安市との共同事業として開始した。2016年12月に浦安市との協定を締結し、双方が保有する音楽資源を有効に活用し、演奏会を定期的に行う環境を整えた。チケット売上の全額を浦安市が条例により設置した基金に積み立てた。なお、基金は浦安の青少年のための文化芸術振興に使われる。

名 称	諏訪内晶子ヴァイオリン・リサイタル 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vo.1 (浦安音楽ホールこけら落としコンサート)
日 程	2017年4月14日(金) 19:00 開演
会 場	浦安音楽ホール(千葉県浦安市) (300 席)
主 催	浦安市、(公財)日本音楽財団
助 成	(公財)日本財団
出 演	諏訪内晶子 Stradivarius 1714 Violin "Dolphin" 使用 金子陽子 ピアノ
曲 目	プロコフィエフ:ヴァイオリンとピアノのための5つのメロディ 作品 35bis ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第5番へ長調 作品 24「春」 ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第6番イ長調 作品 30-1 ファリャ(コハンスキー編曲):スペイン民謡組曲 マスネ:タイスの「瞑想曲」(アンコール)
チケット販売	全席 6,000 円 チケット売上全額を「浦安市文化芸術振興基金」へ積立
寄付額	1,650,000 円(チケット売上 6,000 円×275 枚)
来場者	295 名(うち招待 20 名)

(2)～(5)名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業

日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 1～3

名古屋フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会に当財団の楽器貸与者が出演協力する事業を本年度より始めた。名古屋フィルの公演に定期的に来場するクラシック音楽ファン層へのアプローチができたことで東海地方における当財団の活動の周知と音楽文化の振興普及が実現できた。

芸術性の観点からは、楽器貸与者とオーケストラ双方のレベルの向上が図れたほか、

公益性の観点からは、各コンサートに地元で音楽を学ぶ学生を招待しクラシック音楽に触れる機会を提供した。(4公演で472名の学生を招待)

(2) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ1「ヨアヒム」
豊田市コンサートホール・シリーズ Vol.5

日 程 2018年2月3日(土) 16:00開演

会 場 豊田市コンサートホール(愛知県豊田市) (1,004席)

主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団

共 催 (公財)豊田市文化振興財団、豊田市・豊田市教育委員会

特別協力 (公財)日本音楽財団

助 成 (公財)日本財団

指 揮 小泉和裕(名古屋フィルハーモニー交響楽団音楽監督)

出 演 Ray Chen Stradivarius 1715 Violin “Joachim”使用

共 演 豊田市ジュニアオーケストラ

曲 目 ワグナー:楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕前奏曲
(豊田市ジュニアオーケストラ共演)
ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調作品26(Ray Chen 出演)
ブラームス:交響曲第1番ハ短調作品68

来場者 815名(うち学生招待35名)

(3) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ2「ハギンズ」
第60回市民会館名曲シリーズ <ベートーヴェン・ツィクルスV>

日 程 2018年2月8日(木) 18:45開演

会 場 日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋市) (2,291席)

主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団

協 力 (公財)日本音楽財団

特別協力 (公財)日本財団

後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
(公財)名古屋市文化振興事業団、中日新聞社、CBCテレビ

指 揮 川瀬賢太郎(名古屋フィルハーモニー管弦楽団指揮者)

出 演 Ji Young Lim Stradivarius 1708 Violin “Huggins”使用

曲 目 ベートーヴェン :ウェリントンの勝利(戦争交響曲)作品91
:ロマンス第1番ト長調作品40(Ji Young Lim 出演)
:ロマンス第2番ヘ長調作品50(Ji Young Lim 出演)
交響曲第4番変ロ長調作品60

来場者 1,417名(うち学生招待170名)

(4)(5) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ3「サセルノ」
第454回定期演奏会<シドニーII/1万ドルのシンフォニー>

日 程 2018年2月16日(金) 18:45開演
2018年2月17日(土) 16:00開演

会 場 日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋市) (2,291席)

主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団

共 催	名古屋市
後 援	愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、 (公財)名古屋市文化振興事業団、朝日新聞、メ〜テレ
特別協力	(公財)日本音楽財団
助 成	(公財)日本財団、文化庁文化芸術振興費補助金
指 揮	広上淳一
出 演	Alina Pogostkina Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”使用
曲 目	クーネ:エレヴェーター・ミュージック シベリウス:ヴァイオリン協奏曲ニ短調作品 47 (Alina Pogostkina 出演) アッテルベリ:交響曲第 6 番ハ長調作品 31「ドル・シンフォニー」
来場者	16 日(金)1,230 名(うち学生招待 155 名) 17 日(土)1,712 名(うち学生招待 112 名)

(6)～(8)新しいファン層拡大

(6)、(7) 青少年のためのレクチャーコンサート

生のクラシック音楽を聴く機会が少ない学生を対象に、聴きどころを演奏家による説明を交えたコンサートを2011年より実施している。本年度は、下記のとおり2公演開催した。教育委員会の正規事業と位置づけることを条件とすることで、より一層、開催地の市町村との協力関係が強化できたほか、クラシックファンの低年齢層拡大が推進できた。

(6) 北九州市におけるレクチャーコンサート

名 称	青少年のためのレクチャーコンサート「名曲を聴こう」
日 程	2017年12月8日(金) 14:00～15:20
会 場	響ホール(北九州市) 700 席
主 催	(公財)日本音楽財団、北九州市(福岡県)
助 成	(公財)日本財団
出 演	渡辺玲子 Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz”使用 江口 玲 ピアノ
曲 目	J.S.バッハ(ウィルヘルミ編):G線上のアリア パガニーニ:モーゼ幻想曲 フランク:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 第1・2楽章 クライスラー:ウィーン奇想曲 シューベルト:即興曲変ト長調作品 90-3(ピアノ独奏) ショスタコーヴィチ:ロマンス(映画「馬あぶ」より) バルトーク(セーケイ編):ルーマニア民俗舞曲 ラヴェル:ツィガース
来場者数	675 名(招待)
CD 配布	出席した学生等に同様のプログラムの CD を配布した

(7) 浦安市におけるレクチャーコンサート

名 称	青少年のためのレクチャーコンサート「名曲を聴こう」
日 程	2017年12月17日(日) 14:00～15:20
会 場	浦安音楽ホール(千葉県浦安市) 300 席

主 催 浦安市教育委員会、(公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz”使用
 江口 玲 ピアノ
 曲 目 上記北九州市でのレクチャーと同じ
 来場者数 218 名(招待)
 CD 配布 出席した学生等に同様のプログラムの CD を配布した
 ※浦安市と当財団の協定締結(2016年12月)に基づき設置された「浦安市芸術振興基金」利用の今後のモデル事業として開催した。

(8) 社会的に影響力のある団体との連携

iPS 細胞研究所との連携による演奏会を開催し、同研究所の支援者を中心にこれまでクラシック音楽に関心のなかった人にもアプローチできたことで聴衆層を拡大できたほか、当財団の楽器貸与事業の広報にも大いに役立った。チケット売上等は全額、同研究所に寄付し、ファンドレイズの協力ができた。

名 称 「iPS 細胞研究所支援」
 山中伸弥教授トーク&Ray Chen ヴァイオリン・リサイタル
 日 程 2018年1月31日(水) 18:00 山中教授講演 19:00 演奏会
 会 場 紀尾井ホール(東京) (800 席)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 共 催 京都大学 iPS 細胞研究所
 助 成 (公財)日本財団
 協 賛 サントリーホールディングス(株)、(株)大和証券グループ本社、
 東京海上日動火災保険(株)、(株)三井住友銀行、三井不動産(株)
 後 援 (公財)笹川記念保険協力財団、(公財)日本科学協会
 出 演 Ray Chen Stradivarius 1715 Violin "Joachim"使用
 林 絵里 ピアノ
 曲 目 モーツァルト:ヴァイオリンソナタ第 29 番イ長調 K.305
 バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第 2 番ニ短調
 BWV1004 より「シャコンヌ」
 ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第 3 番ニ短調 作品 108
 チケット販売 全席 10,000 円
 チケット売上の全額を京都大学 iPS 細胞研究基金に寄付。
 寄付額 7,910,000 円(チケット売上(736 枚)7,360,000 円、
 協賛金(5 社)500,000 円、当日の寄付金 50,000 円を含む)

(9)、(10) 楽器貸与事業の周知広報

楽器貸与事業の周知と広報を目的に、政財界のオピニオンリーダー等有識者を対象とした演奏会を 2 公演開催した。

(9) 名 称 Benjamin Beilman ヴァイオリン・リサイタル
 日 程 2017年6月21日(水) 18:00 レセプション 19:00 演奏会

会 場 浜離宮朝日ホール(東京) 550 席
主 催 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
出 演 Benjamin Beilman Stradivarius 1709 Violin “Engleman” 使用
林 絵里 ピアノ
曲 目 ラヴェル:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 ト長調
ヤナーチェク:ヴァイオリンソナタ第18番 ト長調 K.301 (293a)
シューベルト:華麗なるロンド ロ短調 作品 70 D895

(10)名 称 Alina Pogostkina ヴァイオリン・リサイタル
日 程 2017年10月17日(火) 18:00レセプション 19:00演奏会
会 場 浜離宮朝日ホール(東京) 550 席
主 催 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
出 演 Alina Pogostkina Stradivarius 1717 Violin “Sasserno” 使用
林 絵里 ピアノ
曲 目 ブラームス:F.A.E.ソナタよりスケルツォ
モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 K.454
グリーグ:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト長調 作品 13

4. 音楽文化振興・普及のための助成

助成事業は、外部有識者で構成される事業運営委員会で決定されたテーマ(柱)に沿ってホームページで募集している。また、事業の決定については同委員会の審議を経て決定している。(本年度事業運営委員名簿は、巻末別紙2参照)

本年度は、昨年度同様、楽器貸与者による財団主催の演奏会を東京以外の地域でも積極的に開催するために、それぞれの地域にあった集客ができるパートナー(共催者)を育成することを目的とする「パートナーの育成」及び若い音楽家に今後の活動に大きな自信を与える「若手の育成」を中心に募集したところ、16事業の申請があった。なお、年度初めの事業を支援できるように、第1回目の委員会は前年度中に開催している。

2017年度事業運営委員会

第1回事業運営委員会 2017年3月16日(木)14:00~16:00

上記委員会では、16件の申請の内6事業が採択された。

採択された全ての事業が当初期待した通りの事業成果、妥当な支出内容で事業を完了している。助成額合計 6,550,000円

(1) Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ 2017-18 (第1回~第5回)

実施団体 一般社団法人 Music Dialogue

日時・場所 ①2017年 4月17日(月)公開リハーサル・4月21日(金)本番
②2017年 9月11日(月)公開リハーサル・9月20日(水)本番
③2017年 12月 3日(日)公開リハーサル・12月7日(木)本番
④2018年 3月 6日(火)公開リハーサル・3月9日(金)本番

- ⑤2017年 6月 24日(土)京都公演
* ①～④南麻布セントレホール(100席)
⑤京都国立博物館 講堂(200席)

助成額 500,000円

(2) 第4回みやこじま青少年国際音楽祭

実施団体 みやこじま青少年国際音楽祭実行委員会
日時・場所 2017年 6月 27日(火) マティダ市民劇場
2017年 6月 30日(金) 島の駅みやこドイツ文化村
2017年 7月 1日(土) カトリック宮古教会

助成額 500,000円

(3) 青少年のためのレクチャーコンサート IN 宇部

実施団体 (一財)宇部市文化創造財団
日時 2017年 7月 16日(日)
場所 宇部市渡辺翁記念会館(山口県宇部市、1,303席)
出演 渡辺玲子(当財団楽器貸与者)
del Gesu 1736年製 Violin “Muntz”使用
江口 玲 ピアノ

助成額 1,050,000円

(4) 「子ども発達支援センター・さんだ」支援チャリティ・コンサート

Arabella Miho Steinbacher Violin Recital

実施団体 子ども発達支援センター・さんだ支援チャリティ・コンサート実行委員会
日時 2017年 7月 18日(火)
場所 三田市総合文化センター郷の音ホール
出演 Arabella Miho Steinbacher(当財団楽器貸与者)
Stradivarius 1716年製 Violin “Booth”使用
林 絵里 ピアノ

助成額 1,600,000円

(5) 第11回 ARTE 国際マンドリンフェスティバル&コンクール

実施団体 特定非営利活動法人 ARTE MANDOLINISTICA
日時 2017年 10月 7日(土) マンドリン、マンドリンチェロコンクール
コンサート
2017年 10月 8日(日) マンドリンコンクール
コンサート(Yuki Manuela Janke 出演)
場所 いずみホール(大阪)(821席)
出演 マンドリンオーケストラ 112名
Yuki Manuela Janke(当財団楽器貸与者)
Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”使用

助成額 2,100,000円

(6) オーケストラの日 2018

実施団体	(公社)日本オーケストラ連盟
日時	2018年3月31日(土) 14:00
場所	東京文化会館大ホール(東京)(2,303席)
出演	オーケストラの日祝祭管弦楽団、藤岡 幸夫(指揮) ソリスト: JiYoung Lim(当財団楽器貸与者) Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”使用
助成額	800,000円

5. 広報活動

日本音楽財団の活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

- (1) 財団パンフレット(日本語、英語併記)を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。
- (2) ホームページ(日本語、英語)にて、財団の事業活動全般について紹介している
- (3) 財団主催演奏会の CD、DVD を作成し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布している。本年度作成した CD は、以下のとおり。
 - ① 諏訪内晶子ヴァイオリン・リサイタル CD (2017年4月14日浦安収録)
 - ② Benjamin Beilman ヴァイオリン・リサイタル CD (2017年6月21日東京収録)
 - ③ 渡辺玲子による青少年のためのレクチャーコンサート CD
(2017年7月18日宇部収録)
 - ④ Alina Pogostkina ヴァイオリン・リサイタル CD (2017年10月17日東京収録)
 - ⑤ Ray Chen ヴァイオリン・リサイタル CD (2018年1月31日東京収録)
 - ⑥ 日本音楽財団、名古屋フィルハーモニー交響楽団共同コンサート CD
(2018年2月3日、2月8日、2月16日名古屋収録)
- (4) 2012年から2017年に当財団主催で開催された演奏会の Best CD(6枚組)を作成し国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布した。
- (5) 楽器貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、当財団の楽器貸与事業の周知・広報に楽器貸与者の協力を得ている。
 - ① 貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムにおいて、貸与楽器の名称並びに当該楽器が当財団から貸与されていること的事实を周知・広報する。
 - ② 貸与楽器による演奏が、CD、DVD等の形で制作されるときは、貸与者は、貸与楽器の名称並びに当該楽器が日本音楽財団から貸与されていること的事实を当該制作物に明確に表示する。
 - ③ 貸与者は、年に1度、3月末日までに前年4月からの演奏会(開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等)並びに CD、DVD 制作に関する活動内容報告書を当財団に提出する。楽器貸与者が本年度中にリリースした CD は以下のとおりである。
CD: Ji Young Lim “Mozart, Beethoven Violin Sonatas”(2017年7月)

CD: Arabella Steinbacher “Britten & Hindemith Violin Concertos”(2017年10月)

(6) 衛星デジタルラジオ局並びに衛星デジタルテレビの協力を得て、当財団主催の演奏会の実録 CD、DVD を放送し、不特定多数の方々にストラディヴァリウスの華麗な響きを楽しんでもらい、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。特に普段ストラディヴァリウスの演奏に触れる機会のない地方のクラシックファンには、大変喜ばれているとの報告を受けている。2017年度における放送内容は下記のとおりである。

① 衛星デジタルラジオ MUSICBIRD THE CLASSIC(121ch)

1) 放送日:2017年5月7日(日)、5月14日(日)(再放送)

「ストラディヴァリウス・コンサート2016」(サントリーホール2016年9月13日収録)

2) 放送日:2017年9月18日(月・祝)、9月25日(日)(再放送)

「諏訪内晶子ヴァイオリン・リサイタル」(浦安音楽ホール2017年4月14日収録)

出演:諏訪内晶子(ヴァイオリン)、金子陽子(ピアノ)

3) 放送日:2018年2月4日(日)、5月10日(土)(再放送)

「五嶋龍ヴァイオリン・リサイタル」(浜離宮朝日ホール2017年1月31日収録)

出演:五嶋龍(ヴァイオリン)、居福健太郎(ピアノ)

「Benjamin Beilman ヴァイオリン・リサイタル」

(浜離宮朝日ホール2017年6月21日収録)

出演:Benjamin Beilman(ヴァイオリン)、林絵里(ピアノ)

② 衛星デジタルテレビ クラシカ・ジャパン

「ロリン・マゼール解説 ストラディヴァリウス 音比べ」

(米国・バージニア州2007年10月7日収録)

放送日:4月12日(水)、13日(木)、14日(金)、15日(土)、17日(月)、18日(火)、19日(水)、23日(日)

③ BSスカパー!

「ストラディヴァリウス・コンサート2016」(サントリーホール2016年9月13日収録)

放送日:4月12日(水)、15日(土)、17日(月)、18日(火)、23日(日)

(7) 音楽雑誌、新聞、その他マスメディアの取材要請、財団保有楽器の写真提供要請に応え、財団の活動の周知・広報を図っている。2017年度における主な掲載記事等の内容は以下のとおりである。

① 毎日新聞2017年10月5日掲載

「iPS細胞研究所支援 山中伸弥教授トーク&レイ・チェン リサイタルについて」

② 音楽現代2018年2月号掲載

「名古屋フィルハーモニー交響楽団&日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ」

Ⅲ 総 務

1. 役員の変動

2017年7月18日に日野原重明評議員が逝去された。年度末現在の理事・監事・評議員の名簿は巻末別紙1のとおりである。

2. 理事会

本年度は、理事会を下記のとおり3回開催した。

2017年度第1回理事会

開催日 2017年6月8日(木) 11:00～11:50

場 所 アークヒルズクラブ

議決事項

第1号議案 2016年度事業報告及び決算について

第2号議案 評議員会の招集について

2017年度第2回理事会(定款第34条に基づく決議の省略)

開催日 2017年6月28日(水)

場 所 アークヒルズクラブ

議決事項

第1号議案 音楽文化の振興事業「楽器貸与事業」に係わる弦楽器の購入について

2017年度第3回理事会

開催日 2018年3月8日(木) 11:00～11:50

場 所 アークヒルズクラブ

議決事項

第1号議案 2018年度事業計画及び収支予算について
付帯決議案

事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する

収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する

第2号議案 評議員会の招集について

3. 評議員会

本年度は、評議員会を下記のとおり2回開催した。

2017年度定時評議員会

開催日 2017年6月26日(月) 11:00～12:00

場 所 アークヒルズクラブ

議決事項

第1号議案 2016年度事業報告及び決算について

第2号議案 「楽器貸与」に係わる弦楽器の購入について

2017年度臨時評議員会

開催日 2018年3月8日(木) 13:20～13:50

場 所 アークヒルズクラブ

議決事項

第1号議案 2018年度事業計画及び収支予算について 付帯決議案

事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する

4. 監事会

2017年5月25日 2016年度事業報告及び収支決算の監事監査

5. 登記事項

2017年7月25日 評議員変更登記(1名削除)

6. 主務大臣(内閣府)への届出等

2017年8月3日(木) 評議員登記事項変更届(1名削除)

2017年6月27日(火) 2016年度事業報告書及び収支決算書提出

2018年3月29日(木) 2018年度事業計画書及び収支予算書提出

7. 外部監査の実施

本年度も永和監査法人に監査を委託し、期中監査を2018年3月8日(水)に実施し、期末監査を2018年5月17日(水)、18日(木)に実施した。

8. 事務局

事務所を東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル5階に置き、業務を遂行した。
年度末現在の事務局役職員数は常勤役員2名、職員6名、計8名である。

別紙 1

公益財団法人日本音楽財団理事・監事・評議員名簿

(2018年3月31日現在、敬称略)

会 長 江頭(塩見)和子 常 勤

常務理事 檜 林 欣 也 常 勤

(以下理事、監事はアルファベット順)

理 事 海 老 澤 敏 尚美学園大学大学院名誉教授

理 事 福 田 博 丸の内国際法律事務所客員顧問弁護士

理 事 福 井 俊 彦 元日本銀行総裁
(一財)キャノングローバル戦略研究所理事長

理 事 斉 藤 邦 彦 元駐アメリカ合衆国特命全権大使
学校法人北鎌倉女子学園理事長

監 事 垣 見 隆 弁護士

監 事 山 内 悦 嗣 公認会計士

評議員 相 川 直 樹 慶應義塾大学名誉教授

評議員 荒 蒔 康 一 郎 元キリンホールディングス(株)会長

評議員 海 老 沢 勝 二 元 NHK 会長

評議員 藤 井 宏 昭 国際交流基金顧問、森アーツセンター理事長

評議員 畠 山 向 子 (公財)畠山記念館館長

評議員 木 全 ミツ 認定NPO法人JKSK女性の活力を社会の活力に
会長

評議員 清 原 武 彦 産経新聞社相談役

評議員 児 玉 幸 治 (一財)機械システム振興協会会長

評議員 松 木 康 夫 新赤坂クリニック名誉院長

評議員 尾 形 武 寿 (公財)日本財団理事長

評議員 須 磨 久 善 心臓外科医

事業委員名簿

(2018年3月31日現在、敬称略)

楽器貸与委員 (欧州・米国・アジアの代表で構成)

委員長 Simon Rattle	指揮者
(以下委員はアルファベット順)	
委員 Marta Casals Istomin	元マンハッタン音楽院学長
委員 Ana Chumachenco	ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授
委員 Kyung-Wha Chung	ヴァイオリニスト、ジュリアード音楽院教授
委員 海老澤 敏	当財団理事
委員 Yvan de Launoit	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール副理事長
委員 Curtis Price	英国王立音楽院副理事長
委員 江頭(塩見)和子	当財団会長

2017年度事業運営委員

委員長 川本 統 脩	洗足学園音楽大学講師
委員 藤掛 廣 幸	作曲家
委員 齋 藤 一 郎	東京藝術大学名誉教授
委員 江頭(塩見)和子	当財団会長

財団保有楽器の概要

(2018年3月31日現在)

Stradivarius "Paganini Quartet" 「パガニーニ・クアルテット」

アントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)製作による楽器で構成されたクアルテットは、世界で6セットの存在が知られている。このクアルテットはその1つであり、19世紀の伝説的なヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニ(1782～1840)が所有していたことでも有名である。

日本音楽財団は1994年2月にアメリカ・ワシントン D.C.のコーコラン美術館よりこのクアルテットを購入した。同美術館にこのクアルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意志を受け継ぎ、当財団は4挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

1700年製 Stradivarius Violin "Dragonetti" 「ドラゴネッティ」

このヴァイオリンはネックの部分までも製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。著名なコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763～1846)によって大切に所有されていたことから現在この名前と呼ばれている。日本音楽財団の購入直前には、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ペーター・ツィンマーマン(1965～)によって演奏されていた。

2002年6月に当財団が購入したものである。

1702年製 Stradivarius Violin "Lord Newlands" 「ロード・ニューランズ」

イギリスのニューランズ卿(1890～1929)によって生涯大切にされていたため、現在この名前と呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのヒル商会が、1973年にバースの古楽器名器展にて、当時のヒル商会を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン(1920～2001)は、自身が所有しているガアルネリ・デル・ジェスと同じパワーを感じると語ったという。

2002年6月に当財団が購入したものである。

1708年製 Stradivarius Violin "Huggins" 「ハギンス」

このヴァイオリンはかつて、有名な楽器商ニコラス・ヴィヨームが所有していた。その後、イギリスの天文学者であるウィリアム・ハギンス卿(1824～1910)が、1880年頃ウィーンの皇帝からこの楽器を購入し、所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。色艶も鮮やかで保存状態に優れている。日本音楽財団は1997年よりベルギー・エリ

ザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次のコンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

1709年製 Stradivarius Violin "Engleman" 「エングルマン」

このヴァイオリンは、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約150年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で収集家のエフレイム・エングルマンが所有していたため、現在はこの名前で親しまれている。

1996年5月に当財団が購入したものである。

1710年製 Stradivarius Violin "Camposelice" 「カンポセリーチェ」

このヴァイオリンは、1880年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。1937年にはクレモナ古楽器名器展にキューネ博士のコレクションとして展示された。日本音楽財団が購入する前は、30年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていたため、楽器の内側の状態はオリジナルのままである。

2004年9月に当財団が購入したものである。

1714年製 Stradivarius Violin "Dolphin" 「ドルフィン」

1800年代後半にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板のニスに優美な「イルカ」を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715年製「アラード」、1716年製「メシア」に並ぶ世界3大ストラディヴァリウスの1つと呼ばれている。また、巨匠ヤツシャ・ハイフェッツ(1901～1987)が愛用していたことでも知られている。

2000年2月に当財団が購入したものである。

1715年製 Stradivarius Violin "Joachim" 「ヨアヒム」

この楽器は、有名なハンガリーのヴァイオリン奏者、ヨーゼフ・ヨアヒム(1831～1907)が所有していたストラディヴァリウス1715年製ヴァイオリン5挺の内のひとつである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・アラニに遺贈されたことから「ヨアヒム=アラニ」という名前でも知られている。日本音楽財団が購入するまでは、アラニ家によって代々受け継がれてきた。

2000年9月に当財団が購入したものである。

1716年製 Stradivarius Violin "Booth" 「ブース」

1855年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられてい

る。彼女はヴァイオリンの才能を発揮した2人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクアルテットを形成しようと試み、この楽器を購入した。1931年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミシャ・ミシャコフ(1896～1981)の手にわたり、1961年にはニューヨークのホットインガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999年1月に当財団が購入したものである。

1717年製 Stradivarius Violin "Sasserno" 「サセルノ」

1845年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことからこの名前と呼ばれている。1894年にはヴァイオリン奏者のオットー・ペイニガーが所有し、その後にイギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズが所有し、それ以後90年以上にわたり同家で大切に保管されていたため、製作時のままのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999年5月に当財団が購入したものである。

1722年製 Stradivarius Violin "Jupiter" 「ジュピター」

このヴァイオリンは、1800年頃にイギリスの偉大なコレクター、ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナル・ニスも全体に十分残っている。

1998年5月に当財団が購入したものである。

1725年製 Stradivarius Violin "Wilhelmj" 「ウィルヘルミ」

1866年以降、約30年間この楽器を所有していた著名なドイツのヴァイオリン奏者、オウグスト・ウィルヘルミ(1845～1908)に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者として華のあるうちに引退したい」との理由で、50代の若さで楽器を手放したという。

2001年6月に当財団が購入したものである。

1735年製 Stradivarius Violin "Samazeuilh" 「サマズィユ」

このヴァイオリンは、20世紀の初めにフランスのサマズィユ家が所有していたことから「サマズィユ」と呼ばれている。その後、1923年に楽器を所有することになったヴァイオリンの巨匠ミッシェル・エルマン(1891～1967)は「ストラディヴァリウスの中で最高の音色を持つ楽器の1つ」と1926年に手紙に記している。楽器内側に貼られたラベルには91歳(製作者の年齢)と書かれている。

岡本ご夫妻のご寄付と日本財団からの助成を合せて、2017年8月に当財団が購

入したものである。

1736年製 Stradivarius Violin "Muntz" 「ムンツ」

楽器内側に貼られたラベルにはストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92 (92歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスが楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国の収集家ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器のひとつとして知られている。

1997年7月に当財団が購入したものである。

1696年製 Stradivarius Cello "Lord Aylesford" 「ロード・ニューランズ」

アマチュア奏者として有名であったイギリスのアイレスフォード卿が1780年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716～1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約100年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946年にはアメリカ・フィラデルフィア在住の世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903～1976)の手に渡り、1950年から1965年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924～2013)によって演奏会や35枚のレコーディングのために使用された。

2003年6月に当財団が購入したものである。

1730年製 Stradivarius Cello "Feuermann" 「フォイアマン」

アントニオ・ストラディヴァリが製作したうち、現存するチェロは、約50挺といわれている。「フォイアマン」は普通のチェロと比べ、楽器本体の部分が細長い点の特徴である。1934年から世界的に著名なチェロ奏者、エマヌエル・フォイアマン(1902～1942)が長年にわたり演奏活動に使用したことから、この名前と呼ばれている。エマヌエル・フォイアマンは斎藤秀雄が師事したこともあり、日本でもよく知られている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

1736年製 Guarneri del Gesù Violin "Muntz" 「ムンツ」

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・グアルネリ(グアルネリ・デル・ジェス)(1698～1744)が製作したヴァイオリン。イギリスの収集家ムンツが一時期所有していたことから、この名前が親しまれている。日本音楽財団はストラディヴァリとデル・ジェスによって同じ1736年に製作された2挺の「ムンツ」を保有しており、それぞれの楽器の音色の特色を聴き比べるために、両方の楽器を使用したコンサートを開催している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

1740年製 Guarneri del Gesu Violin "Ysaye" 「イザイ」

この楽器はベルギーの国家的ヴァイオリン奏者、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ 1928」とフランス語で書かれている。イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した名器としても知られ、その後、1965年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり生涯愛用された。この楽器は日本音楽財団が1998年に、スターンから譲り受けたものである。

1998年3月に当財団が購入したものである。

以上、当財団はストラディヴァリウス・ヴァイオリン 15 挺、ストラディヴァリウス・チェロ 3 挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ 1 挺、グアルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン 2 挺の合計 21 挺の弦楽器を保有している。

楽器名と貸与者一覧

別紙4

楽器名	貸与演奏家	貸与開始	備考
-----	-------	------	----

(長期貸与)

1	Antonio Stradivari 1700 Violin "Dragonetti"	Veronika Eberle	2009/5/11	ベルリン在住
2	Antonio Stradivari 1702 Violin "Lord Newlands"	Suyoen Kim	2015/1/20	ベルリン在住
3	Antonio Stradivari 1708 Violin "Huggins"	Ji Young Lim	2015/6/2	ベルリン在住 2015年エリサベートコンクール優勝者
4	Antonio Stradivari 1709 Violin "Engleman"	Benjamin Beilman	2016/12/7	フィラデルフィア在住
5	Antonio Stradivari 1710 Violin "Camposelice"	Svetlin Roussev	2012/1/15	パリ在住 2012/1/15-2/8 Joachim貸与 2012/2/8 よりCamposelice貸与
6	Antonio Stradivari 1714 Violin "Dolphin"	諏訪内晶子	2000/8/11	パリ在住
7	Antonio Stradivari 1715 Violin "Joachim"	Ray Chen	2009/6/2	フィラデルフィア在住 2009年エリサベートコンクール優勝Huggins貸与 (2009/6/2-2010/9/8) 2012/4/11よりLord Newlands貸与 2014/6/19よりJoachim貸与
8	Antonio Stradivari 1716 Violin "Booth"	Arabella Miho Steinbacher	2005/5/6	ミュンヘン在住 2005/5/6よりStrad. Muntz貸与 2006/9/4よりBooth貸与
9	Antonio Stradivari 1717 Violin "Sasserno"	Alina Pogostkina	2013/2/28	ベルリン在住
10	Antonio Stradivari 1722 Violin "Jupiter"	五嶋 龍	2013/3/7	ニューヨーク在住
11	Antonio Stradivari 1736 Violin "Muntz"	Yuki Manuela Janke	2007/11/2	ドレスデン在住
12	Antonio Stradivari 1696 Cello "Lord Aylesford"	Pablo Ferrández	2014/1/17	トレド・ネス(スペイン)在住
13	Antonio Stradivari 1730 Cello "Feuermann"	石坂団十郎	2004/1/29	ヴェルター(ドイツ)在住 2004/1/29-2014/1/10 Lord Aylesford貸与 2013/6/22よりFeuermann貸与
14	Guarneri del Gesu 1740 Violin "Ysaye"	Sergey Khachatryan	2005/5/31	エッセンホルン(ドイツ)在住 2005年エリサベートコンクール優勝Huggins貸与 2009/4/7よりLord Newlands貸与 2010/10/27よりYsaye貸与

(特別貸与)

	Antonio Stradivari "Paganini Quartet"	Quartetto di Cremona		2018年10月末までの期限付特別貸与 クレモナでの特別演奏会のため委員会承認
15	Violin 1680	Paolo Andreoli	2017/9/25	ジェノバ(イタリア)在住
16	Violin 1727	Cristiano Gualco	2017/9/25	ジェノバ(イタリア)在住
17	Viola 1731	Simone Gramalia	2017/9/25	ボケリアスコ(イタリア)在住
18	Cello 1736	Giovanni Scaglione	2017/9/25	ジェノバ(イタリア)在住

(短期貸与)

19	Antonio Stradivari 1725 Violin "Wilhelmj"	Radoslaw Szulc		ミュンヘン在住 演奏活動のため契約更新
20	Antonio Stradivari 1735 Violin "Samazeuilh"			※2017年8月購入楽器
21	Guarneri del Gesu 1736 Violin "Muntz"	渡辺玲子		東京在住 財団事業協力のため契約更新

長期貸与14挺、特別貸与4挺、短期貸与3挺 現在保有楽器 計21挺

2018/3/31現在

上記のとおり2017(平成29)年度事業報告書及び附属明細書を提出いたします。

2018(平成30)年5月25日

公益財団法人 日本音楽財団

会 長 江頭(塩見)和子

①

2017(平成29)年度事業報告書及び附属明細書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2018(平成30)年5月25日

監 事 垣 見 隆

①

監 事 山 内 悦 嗣

①